



令和 6（2024）年 8 月 30 日

令和 5 年度一般会計決算見込みについて

令和 5 年度の猪名川町一般会計の決算見込みは、歳入で 125 億 266 万 2 千円、歳出で 119 億 3,279 万 3 千円となり、前年度と比較して、歳入は 3.9%、歳出は 2.1%、それぞれ増加しました。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は 5 億 6,986 万 9 千円、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は 5 億 5,388 万 9 千円となりました。

【令和 5 年度一般会計決算収支の状況】

（単位：千円）

区 分	決 算 額
歳入総額（A）	12,502,662
歳出総額（B）	11,932,793
歳入歳出差引（C = A - B）	569,869
翌年度に繰り越すべき財源（D）	15,980
実質収支（C - D）	553,889

【歳入の概要】

町税は、産業拠点地区における償却資産の増加などにより前年度から7.4%増加しました。一方、地方交付税は、町税の増加などに伴い、普通交付税が減少したことで4.1%減少しました。

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業規模が縮小したことなどにより前年度から7.3%減少しました。

また、繰入金は、出納整理期間に行う町債借入までの運転資金の不足に対応するため財政調整基金を4億円繰り入れたことなどから113.9%増加しました。

【歳出の概要】

民生費は、住民税非課税世帯等に対する給付金や介護保険、後期高齢者医療保険特別会計への繰出金が増加したことなどにより6.7%、土木費は、橋りょう長寿命化事業費が増加したことなどにより14.1%それぞれ前年度から増加しました。

一方、衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業規模が縮小したことなどにより前年度から21.5%減少しました。

【その他】

- ・ 地方債残高は81億6,452万1千円で、前年度から2億6,527万6千円減少。
- ・ 基金残高は38億1,777万4千円で、前年度から2億2,107万9千円減少。
- ・ 経常収支比率は、町税収入の増加により経常一般財源が大幅に増加したものの、物価の上昇が経常経費全体を押し上げているため、前年度から1.4ポ

イントの減少にとどまり、89.1％となりました。

- ・ 実質公債費比率は、単年度の比率は下がったものの、3ヵ年平均の比率は、前年度と同率の2.8％となりました。一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額と比べ、充当できる基金等の財源が多いことから、将来負担比率は発生しない状況となっています。

【問合せ】

企画総務部総務課 担当肥爪^{ひづめ}（TEL 0 7 2 - 7 6 6 - 8 7 0 8）